



アンバサダー:

自己紹介: ご自分のお名前と所属クラブ、Pathways Ambassador であること
(Pathwaysの導入がスムーズで成功裏に行われるようサポートする役割)

Toastmastersの教育プログラムが、近々全面的に変わります。その新しい教育プログラムがPathwaysです。

本日は、なぜ教育プログラムを変えるのか(Why)、いつから変わるのか(When)、何が
変わるのか(What)などにつき、時間の許す範囲で説明し、質問にもお答えします。

なおこのPPTは、District 76のホームページで公開します。また本日、皆さんの質問す
べてにお答えできない場合、別途お送りするGoogle Formへご質問を記入の上提出い
ただけば、後日District Website を通じ必ず返事いたします。

(クリック)

“Communication... leads to the discovery of hidden abilities ... broadens the person's conception of how to live with people. ... It brings out for use the leadership traits and abilities, and thus helps to prepare the individual to be a leader.”



Ralph C. Smedley
Personally Speaking

これは、Toastmastersの創始者である、ラルフ C. スメドリー博士です。博士の、『人々は、コミュニケーションを通じ、自ら持てる潜在能力に目覚め、社会と共生する道を修め、リーダーとなる道を開きます。』との信念の基に、現在のToastmastersの教育プログラムは生まれ、発展してきました。

(クリック)

Education in Toastmasters



現在の教育プログラムは、過去数十年にわたる歴史を持ち、素晴らしいものであることは、皆さんご存じのとおりです。一方、時の流れと共に、改良、改善の余地が生じてきたことも明らかです。例えば、社会の変化、新しい理論の出現、IT技術の発展、国際化の進展などへの新たな対応が必要となっています。

2010年、Toastmastersの理事会は、将来へ向けての戦略プログラムを策定し、その中で、教育プログラムを刷新し、そのポテンシャルを一層高めることが必要であるとの意思決定を行いました。それを受けて、教育プログラムの全面改定という大掛かりな作業が行われ、完成したのが、本日皆さんへご紹介するPathwaysです。

(クリック)

What will not change:

We learn communication and leadership “in moments of enjoyment.”

- ① Self-paced learning
- ② No Instructor
- ③ Immediate Feedback
- ④ Club meeting format

まず、Pathwaysになっても変わらず維持される、Toastmasters Programの特色から説明します。

Toastmastersの教育プログラムは、楽しみながらコミュニケーションとリーダーシップを学ぶプログラムで、このことは、Pathwaysでも全く変わりません。

また、Toastmasters教育プログラムの特徴である、以下のような諸点も変わりません。

- ①学習のスピードは、メンバー各自が自分で選び決定できる点、②先生が居ない点、③論評をその場で受けられる点、などです。また、④クラブ例会の内容と重要性も変わりません。

What will change:

- ① Ten paths to choose from
- ② PC use online becomes standard
- ③ All paths are available in Japanese
- ④ More frequent awarding
- ⑤ Learning Communication and Leadership together

それでは、何が新しくなるのでしょうか。

現行プログラムでは、入会して最初に取り組むコースは、全員共通のCCマニュアルとCLマニュアルです。

一方Pathwaysでは、①10のPathと呼ばれる異なったコースの中から、自分の興味に合わせたPathを選ぶこととなります。また、②パソコン、タブレットなどの電子機器の使用が標準となります。これまでパソコンにご縁のなかった方には、新たにパソコンを始める良い機会になりそうです。③電子機器で受講する場合、すべてのPathは、英語ではもちろんのこと、日本語を含む8つの他言語での受講が可能となります。また、④学習の進捗に応じ、度々、色々な表彰が受けられるようになります。また、⑤コミュニケーションとリーダーシップの学習は、同一のPathの中、あるいはプロジェクトの中で、同時進行で学べるように工夫されています。

さらに、全体的な改善としては、

- ① 双方向学習方式の採用
- ② 学習履歴や論評など保管の容易化
- ③ 関連する追加教材への参照の容易化
- ④ 楽しみながら学習するための一層の工夫
- ⑤ 学習内容の外部への説明の容易化 などがあります。

Why are there 10 paths?

- For customizing to a member's need
You can select your own path
by answering simple questions.
Through this process, you can be made
aware of the reason why you joined
Toastmasters

10もPathが有って、混乱しないか、難しいのではないかといった懸念もあるかも知れません。実は、10の異なったPathは、個々のメンバーにとって、最もそのニーズや目的に合ったPathを提供することを目指した結果です。コミュニケーションと言っても、色々なパターンのコミュニケーションが想定されます。リーダーシップの学習においても、同様でしょう。Pathを選ぶ前に、簡単なアンケートへ回答するだけで、あなたに合った3つのPathが推薦されます。もっとも、他のPathを選ぶことも可能です。また、勉強を始める前に、アンケートに答えることで、自らの学習目的を明確化する効果もあります。



実際のPathways開発の段階では、Toastmastersで修得出来る各種の知識や能力を分析し、それらを5つのグループに分類しました。それらの大分類は、①Public Speaking, ②個人間コミュニケーション、③戦略的なリーダー、④マネージメント、⑤の自信です。もっとも、自信は学びの結果得られるものであり、学びの対象とはなりません。従って、これらの①から④の内の、どれに重点を置いて学ぶかを決めることにより、10の異なるコースすなわちPathが出来上がっています。

Levels and Project Types

LEVEL 1 Mastering Fundamentals	LEVEL 2 Learning Your Style	LEVEL 3 Increasing Knowledge	LEVEL 4 Building Skills	LEVEL 5 Demonstrating Expertise
"Ice Breaker" "Evaluation and Feedback" "Researching and Presenting"	Two required projects + "Introduction to Toastmasters Mentoring"	One required project + a minimum of two elective projects *Serve as Topicsmaster, Toastmaster and evaluator by the end of Level 3	One required project + a minimum of one elective project	One required project + a minimum of one elective project + "Reflect on Your Path"

次に、どのPathにも、5つの学習レベルがあり、一部のプロジェクトは、全てのPathに共通して含まれています。例えば、Ice Breakerは、どのPathにおいても、最初に手掛けるプロジェクトです。そのほか、EvaluationとかMentoringなども、共通のプロジェクトとして、どのPathにおいても、学ぶことになっています。また、プロジェクトには必修のプロジェクトと選択のプロジェクトがあります。1つのPathを終えるためには、最低14ヶのプロジェクト(15のスピーチ)を終える必要があります。

これまで相当部分を各メンバーの主観に任されていたHow to evaluateとか、How to mentorがある程度標準化されることは、非常に重要なPathwaysの改善点だと言えるでしょう。

CHOOSING YOUR PATH: ONLINE OR PRINTED

	Online Materials		Printed Materials	
	English	Non-English	English	Non-English
Dynamic Leadership	✓	✓	✓	
Effective Coaching	✓	✓		
Innovative Planning	✓	✓		
Leadership Development	✓	✓	✓	✓
Motivation Strategies	✓	✓		
Persuasive Influence	✓	✓		
Presentation Mastery	✓	✓	✓	✓
Strategic Relationships	✓	✓	✓	
Team Collaboration	✓	✓	✓	
Visionary Communication	✓	✓		

Pathwaysは、パソコン経由だけでなく紙媒体でも受講できます。この表は、オンライン経由では、英語は勿論、日本語やその他7つの言語で、10全てのPathが学習対象となることを示しています。一方、紙媒体の場合、英語での受講では、5つのPathが、また日本語では2つのPathの受講が可能であることを示しています。

オンラインのメリットとしては、動画をはじめとする豊富な参考資料を活用できることなどが 있습니다。一方、紙媒体の場合、新Pathの開始、および次のレベルへ進む際に、マニュアルが空送されてくるため、オンラインに比べ多少の遅れが生じます。

Cost for Online and Print

Online version Path \$20 each

**Print version Path
additional printing
and air-shipment cost \$25 each**

Pathwaysのコストは、パソコンを使用してオンラインで受講する場合は、1Path \$20です。

一方、紙媒体で受講する場合、1Path 当たり、追加の印刷並びに郵送費用が\$25必要となります。



Pathwaysには、多くの認証が準備されています。

現在のプログラムでは、CC Manualで10ヶのプロジェクトを終えると、初めて最初の教育賞であるCompetent Communicatorの称号が与えられます。

一方、Pathwaysでは、各レベルを終えるごとに、終了賞が与えられます。各レベルの賞は図形としてパソコンで受け取るものです。また、修了証書を自分で印刷することができます。

5つのレベルを終え一つのPathを完了すると、Proficientというタイトルを獲得します。また、印刷されたPathの終了証書も国際本部から貰うことができます。

また、その他にも、EvaluationやMentoring 賞など色々な賞が準備されており、メンバーのベースキャンプを経由して、交換することができます。

When will Pathways roll out in Japan?

Pathways will roll out in March, 2018

(Current schedule as of July, 2017, and subject to change)

現在のところ、このPathwaysが日本で開始されるのは、来年3月と予定されています。従って、これからの説明は、この来年3月の導入を前提として進めます。

What will happen after March, 2018

Overlapping period:

The Current Program and Pathways
will run concurrently

For 2 years after the completion of the
world-wide roll-out or approximately for 3
years from now.

まず、導入後は、現行プログラムとPathwaysが並行して共存するという、並行期間が設けられます。

その、長さは、Pathwaysの世界中の導入が終了した時点から2年間と決められています。現在の予定では、現時点(2017年7月)から約3年先、2020年の夏まで、並行期間が続きます。

What will happen after March, 2018

- New members: Pathways program only
- Member in good standing in one club:
 - One path free of charge
 - Can change to Pathways anytime during the overlapping period
 - Can also continue with the current program until the overlapping period ends
- Member in good standing in more than one club:
 - Two paths free of charge
 - Can change to two Pathways anytime
 - Can also continue with the current programs until the overlapping period ends .

まず、Pathwaysが3月に導入されると、

それ以降の新入会員は、全員Pathwaysでの学習となります。

導入時点で1クラブに所属し、会費を支払い済みのメンバーは、1Pathを無料で受講できます。そして、現行プログラムも、並行期間中は、継続して使用できます。

導入時点で2クラブ以上に所属し、会費を支払い済みのメンバーは、2つのPathを無料で受講できます。そして並行期間中は、現行プログラムも継続して使用できます。

ひとつ重要なポイントですが、現行プログラムで、何らかの教育賞を目指して学習中のメンバーは、どの時点でPathwaysへ移行するかを、今から考えだしておく必要があります。現行プログラムで達成した教育クレジットは、Pathwaysでの教育賞申請には使用できません。なお、クラブやディストリクトオフィサーなどのLeadershipの実績は、もし現行のプログラムでの受賞申請に使用していない限り、Pathwaysでの申請にも使用できます。

Pathways Doesn't Change the Club Meeting

	Today	With Pathways
Your club meeting has an agenda, meeting roles and speeches	✓	✓
You sign up for a speech and receive an evaluation	✓	✓+ Access and store speech evaluations online
Club members support you and give feedback	✓	✓+ Feedback is also available online through Base Camp
You receive recognition	✓	✓+ Receive digital badges and certificates through Base Camp
The Ice Breaker is your first speech	✓	✓
The VPE tracks your progress	✓	✓
Speeches last 5-7 minutes	✓	✓
Learn 68 competencies	✓	✓+ Learn more than 300 competencies
One communication track, one leadership track	✓	✓+ 10 different learning paths tailored to you

既に説明しましたが、Pathwaysとの並行期間中、あるいは完全移行後も、クラブ例会の形式に変更はありません。

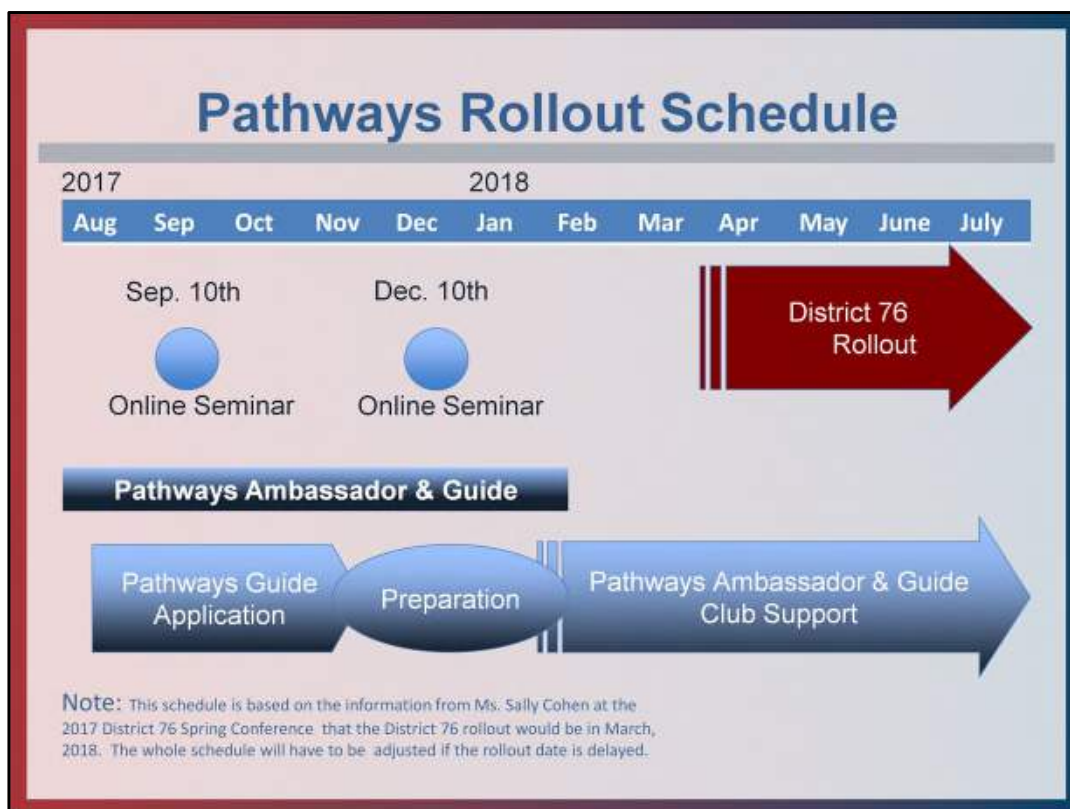
クリック

Distinguished Club Program

EDUCATION (SELECT 6 OF 12 GOALS)

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> Two CC awards | <input type="checkbox"/> Four Level 1's |
| <input type="checkbox"/> Two more CC's | <input type="checkbox"/> Two Level 2's |
| <input type="checkbox"/> One ACB, ACS or ACG award | <input type="checkbox"/> Two more Level 2's |
| <input type="checkbox"/> One more ACB, ACS or ACG | <input type="checkbox"/> Two Level 3's |
| <input type="checkbox"/> One CL, ALB, ALS or DTM award | <input type="checkbox"/> One Level 4 |
| <input type="checkbox"/> One more CL, ALB, ALS or DTM | <input type="checkbox"/> One Level 5 |

Distinguished Club Programに関しては、並行期間中は、現行プログラムからの教育クレジットとPathwaysからのクレジットを合算して、DCPIに適用することが可能です。組み合わせは、この表をご覧ください。



これは、Pathwaysのクラブへの導入に至るまでの、支援スケジュールです。来年3月のクラブ導入に向けて、色々なサポートが行われることを示す、概念図だとお考えください。

ここに、Pathways Guideとあるのは、クラブレベルでの導入に際し、主に技術的な支援を行うメンバーです。Districtでは、現在Pathways Guideを募集しています。ご興味のある方は、DistrictのHomepageをご覧の上、応募ください。

Pathways Rollout Support Structures

District Rollout Support Structure

PQD and District Leadership Team
Chief Ambassador and Ambassadors
Pathways Guides

Club Rollout Support Structure

VP Education will play the key
role, assisted by President,
Secretary and other club
officers



これは、導入を支援する体制です。

District サイドの体制:

PQDをリーダーとするDistrictのリーダーチーム
Chief Ambassadorを中心とするAmbassador Team
Pathways Guide が、協力して支援いたします。

一方、クラブ側では、VP Educationを中心に、クラブのPresident, Secretary、そしてその他のオフィサーチームがDistrictの支援を受けて、対応することになります。

クリック



それでは、時間の許す限り、質疑応答に入りたいと思います。

時間が足りない時は、後日お送りするCOTに関する質問票の中に、Pathwaysに関する質問や懸念事項を記入するスペースがありますので、記入ください。質問には、後日、ディストリクト76のホームページを通じ、お答えいたします。



皆さん、ご清聴ありがとうございました。Pathwaysが日本へ到着するのを、楽しみに待ちましょう。

ICE BREAKER

http://www.toastmasters.org/websiteApps/Pathways/tm100101_SCORM12_20151004/tm100101/index.html

or

<https://goo.gl/GyokAD>

- Recognize the elements of a basic speech structure
- Balance preparation and spontaneity when delivering your speech
- Demonstrate self-confidence when speaking in front of an audience
- Identify your communication and leadership skills
- Define communication and leadership goals



追加情報 1

時間があり、Wi-Fi接続が可能であれば、このURLをクリックすると、Ice Breaker Projectの疑似体験ができます。

プロジェクトが、簡明で、具体的、対話形式もあり、自分の問題意識の洗い出しや自己評価、ビデオによる先輩の体験談などもあり、ステップ・バイ・ステップでIce Breakerが完成していきます。ビデオのヒアリングもふくめ、英語の学習上も、有効かつ興味深い素材となっています。なお、ビデオの原稿は、プロジェクトの参考資料として活字化されています。また、Projectの内容を学習用に紙媒体としたい場合は、印刷も可能です。

Competency-based?

- When you learn something, you are acquiring some competencies
- When competencies are made clear, you know more clearly what you are learning
- When you know what competencies you are learning, you can explain to others precisely what you are learning.

Skip

追加情報 2

どのような教育プログラムでも、色々な能力を学びます。これらの能力を英語では、Competencyと呼びます。現行の教育プログラムでは、約100のCompetencyが学べるものが、分析から判明しているようです。これらのCompetencyをグループ化したところ、5つの大グループに分かれました。これらの大グループを、Core Competencyと呼び、それらのCore Competencyをどの程度学ぶかを検討し、組み合わせた結果生まれたのが、10のPathです。

どのPathを選ぶかは、Pathwaysを最初始める際、簡単なアンケートに回答することで、自動的に三つのPathsが推薦されます。もちろん、それに従わず、自分の選択で他のPathを受けることも可能です。

参考

Competencyとは、

単なる知識や技能だけでなく、様々な心理的・社会的なリソースを活用して、特定の文脈の中で複雑な要求(課題)に対応することができる力。

Competencies in a new project ICE BREAKER

- Recognize the elements of a basic speech structure
- Balance preparation and spontaneity when delivering your speech
- Demonstrate self-confidence when speaking in front of an audience
- Identify your communication and leadership skills
- Define communication and leadership goals

Skip

これらが、Ice Breakerのプロジェクトで、修得を目指すCompetenciesです。各プロジェクト毎に、そこで修得を目指すCompetenciesが何であるかの説明があり、はっきりした目的意識を持って、プロジェクトに取り組むことが出来るように考えられています。また、外部の人たちへ何を学んでいるかを具体的に説明する上でも役立ちます。

DTM Requirements

New Path to DTM

- ▶ Completion of two learning paths
- ▶ Serve as a club officer for 12 months (current requirement is six months)
- ▶ Serve as Club Mentor or Coach
- ▶ Serve as Club Sponsor or conduct Speechcraft or Youth Leadership Program
- ▶ Serve as a district officer for one year
- ▶ Complete the capstone DTM project

Skip

追加情報 3

これは、Pathwaysの新DTM要件のリストです。

キャプストンDTMプロジェクトとは、DTM申請者全員が完了することを求められるHPLに似たプロジェクトです。ただし、HPLよりは多少易しいようで、簡易版HPLとも呼ばれているようです。

なお、Pathwaysでは、全てのプロジェクトにHPLは、必修あるいは選択プロジェクトとして、含まれています。従って、DTM申請者が完了した二つのPathsの双方で、HPLを取り上げておれば、このDTM申請者は、それら二つのHPLに加え、さらに、キャプストンDTMプロジェクトを行うこととなります。